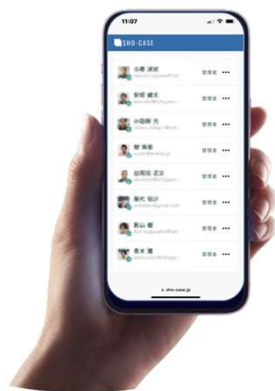


スマートフォンを活用した、 新たな労務管理システムによる働き方改革の取組



株式会社SHO-CASE × 株式会社富士防

- 1 - 企業概要
- 2 - 共創プロジェクト概要
- 3 - 背景となるニーズや課題認識
- 4 - 実装実験成果

- 1 - 企業概要
- 2 - 共創プロジェクト概要
- 3 - 背景となるニーズや課題認識
- 4 - 実装実験成果

1 - 企業概要

ベンチャー企業側

会社名 株式会社SHO-CASE



設立 2020年10月

本店住所 横浜市中区尾上町1-6 YOXOBOX 3F

事業内容 ①ITシステムの開発事業
②内装工事,施工現場管理委託

「現場で働く人たちの価値を最大化する」を
ミッションに、元現場監督メンバーが作る、施工
現場の課題解決ソリューションを提供します

連携企業側（大企業）

会社名 株式会社 富士防



株式会社 富士防

設立 1989年1月

住所 神奈川県横須賀市森崎1-19-18

事業内容 マンション大規模修繕

「たてものを育む。」をコーポレートメッセージ
としてかかげてお客様の思いをしっかりと受け入れ
ながら建物の価値を高めていきます。

1 - 企業概要

オフィスの場所が歩いて徒歩3分圏内の情報交換のしやすさ

SHO-CASE




 株式会社 富士防



- 1 - 企業概要
- 2 - 共創プロジェクト概要**
- 3 - 背景となるニーズや課題認識
- 4 - 実装実験成果

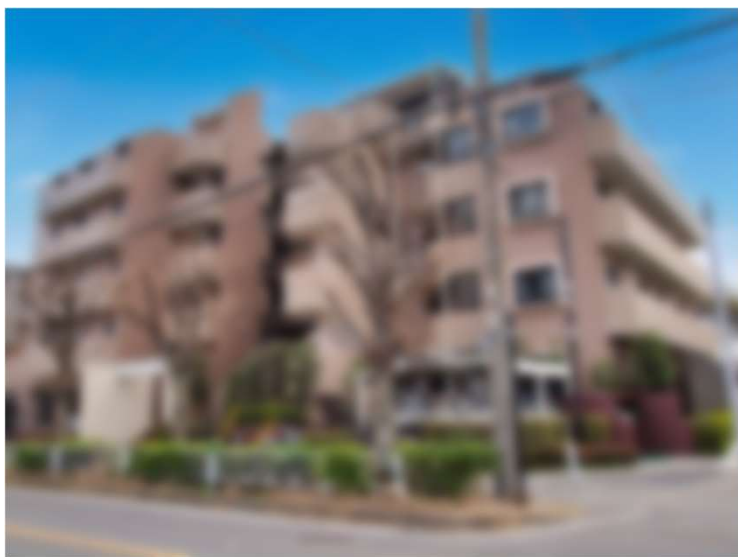
2 - 共創プロジェクト概要_BAKについて

県/行政の支援を受けて、建設DXの推進を加速するプロジェクトを実装



2 - 共創プロジェクト概要_実施内容

(株)富士防が元請けのマンション修繕工事現場にて、株式会社SHO-CASEが開発する労務安全管理SaaS「SHO-CASE」にてデータ連携の実証実験を行う



連携現場：横浜市青葉区のマンション

実装実験内容

【工期】 8月21日～12月27日

【元請会社】 株式会社富士防

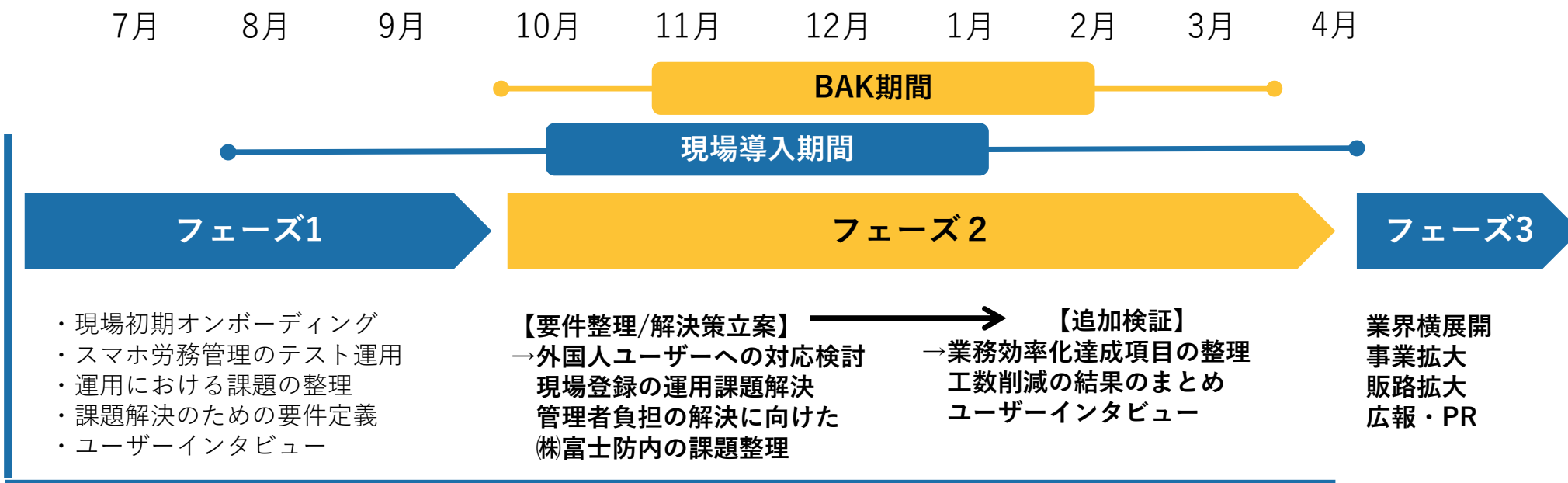
【部署】 マンションリニューアル事業本部 工事統括部

【検証項目】

- ①従来の紙ではなく、スマートフォンを使った労務管理が現場で運用可能か。職人さんにどのくらい受け入れられるか
- ②現場監督と職人が費やす日々の労務安全管理書類の負担がどれだけ軽減され、管理業務に費やす時間がどのくらい増えたか
- ③集約した労務管理情報を、どのようにして今後の現場事業に活用できるか、経営課題を細分化し、解決案を見つける

2 - 共創プロジェクト概要_実証実験スケジュール

実証実験を通して、来年度以降も業界のDX化を推進するためにフェーズ2でBAKを起用



※横浜市青葉区のマンション修繕工事以外の他現場の選定も含む

- 1 - 企業概要
- 2 - 共創プロジェクト概要
- 3 - 背景となるニーズや課題認識**
- 4 - 実装実験成果

3 - 背景となるニーズや課題認識_業界の動向

マンションは老朽化が社会課題へ。マンション修繕工事市場は拡大需要へ

2 不具合はいつごろから発生するの？

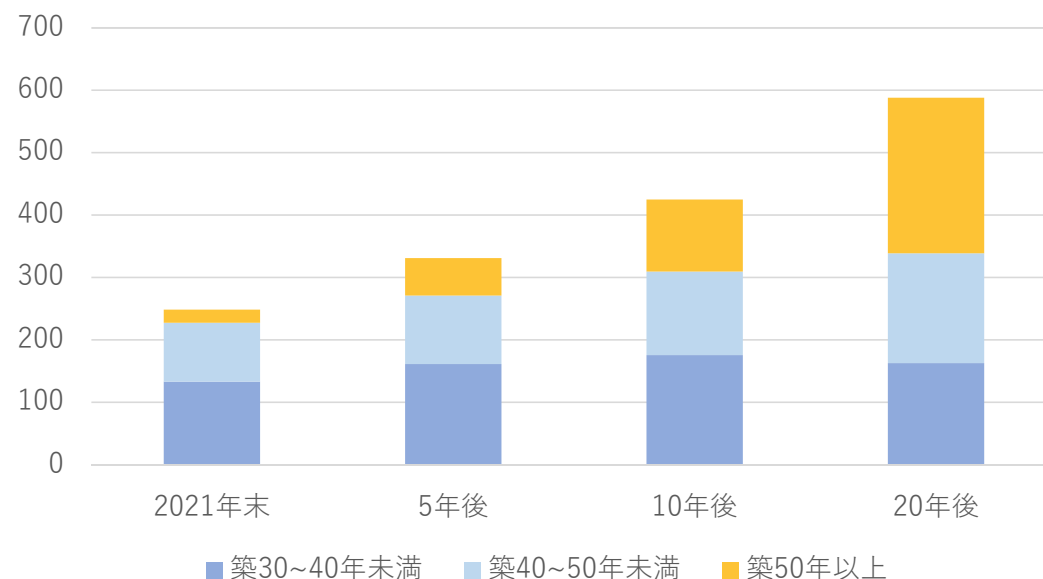
建て方・資材、立地等にもよりますが、主な部位について、一般的に修繕を行う目安は以下のとおりです。



*修繕を行う目安については、国土交通省住宅局市街地建築課 マンション政策室「長期修繕計画作成ガイドライン」(2008年)、(公財)日本賃貸住宅管理協会「賃貸住宅版 長期修繕計画案作成マニュアル(改訂版)」(2014年)、国土交通省 住宅局住宅総合整備課「公営住宅等長寿命化計画策定指針(改定)」(2016年)を参考に作成したものです。

[001231404.pdf \(mlit.go.jp\)](https://www.mlit.go.jp/001231404.pdf)

築30年以上の分譲マンションの戸数



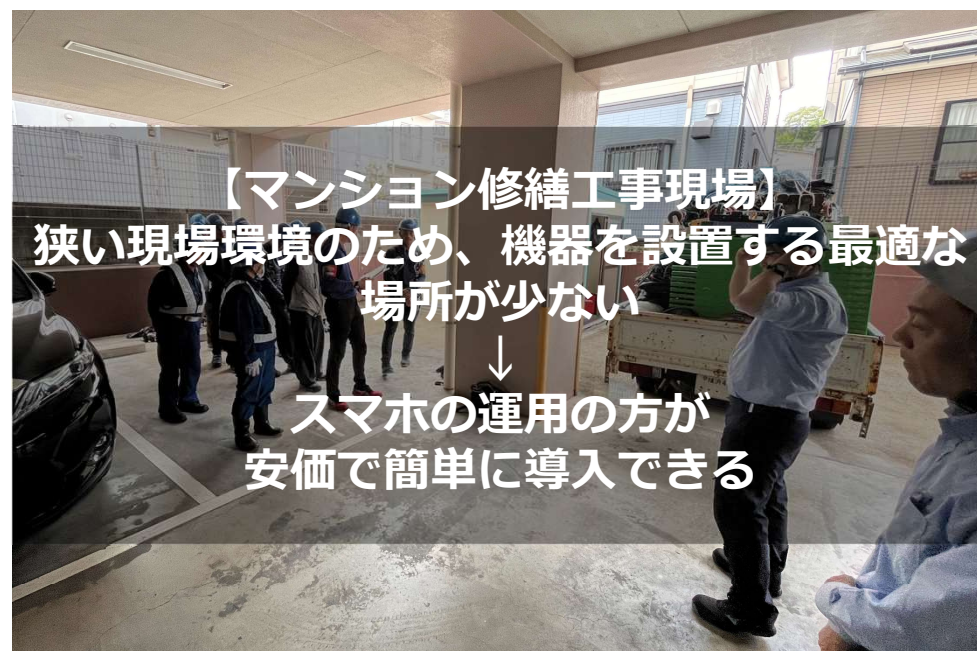
3 - 背景となるニーズや課題認識_マンション修繕現場の特徴

駐車場スペースなどを間借りして、そこを朝礼・現場事務所としている場合がある



3 - 背景となるニーズや課題認識_マンション修繕現場の特徴

新築現場は機器による管理が可能。マンション修繕工事は新築現場と環境が異なる





3 - 背景となるニーズや課題認識_マンション修繕工事現場の課題

作業員の個人情報/作業人数/労働時間などを現場で毎日管理している

安全衛生・品質・環境作業打合せ表		打合せ日	2021年 9月19日 (金)	工事名:	〇〇〇〇〇〇大規模修繕工事		統括者:	統括安全衛生責任者	元管者:	元方安全衛生管理者	安業者:	安全衛生責任者	
業		作業日	2021年 9月20日 (土)	作業内容		作業場所 <td>作業人員 予定</td> <td>実数</td> <td>作業日 <td>報告</td> <td>協会社名 <td>本日</td> <td>累計</td> </td></td>	作業人員 予定	実数	作業日 <td>報告</td> <td>協会社名 <td>本日</td> <td>累計</td> </td>	報告	協会社名 <td>本日</td> <td>累計</td>	本日	累計
〇〇建設	外部足場組立	A棟南面	5	7	足場組立時に高所から墜落し、被災する	山田	共通仮設	△△建設	8	5			
					足場組立時、はしを踏み外し、安全帯を使用する				〇〇建設	7	25		
××工業(〇〇組)	外壁下地補修	A棟西面9~4階	2	2	回転工具に指を巻き込まれ、裂傷する	穴山	車輦誘導	△△管機	2	11			
					(回転工具の保護カバーを外して警告する)				××工業	2	11		
△△管機	車輦・歩行者誘導	A棟南面	1	1	工事用車輦と歩行者が接触し、負傷させる	北野							
工事日誌													
配置図: 全体略図		品質・環境関連特記事項 (検査内容・立会・製品の品別・その他)		特記事項 (資機材の搬出入予定、発火時対策)		移動式クレーン使用時の連結確認		総計		18人	52人		
13:00~足場組立				9:00~足場材搬入 4x1台		使用会社・作業内容		使用時間		作業員・労働時間集計(業災害記録)			
				〇〇建設		9:00~11:00				区分			
										本日		累計	
										職員		29人	
										作業員		88時間	
										合計		112時間	
												84時間	
株式会社 富士防													

2019/2/13 改訂 第6版

工事名: 〇〇〇〇大規模改修工事

新規入場者教育時アンケート

氏名: _____

現在所: _____

緊急時連絡先(家族): _____

入社年月日: _____

経歴: _____

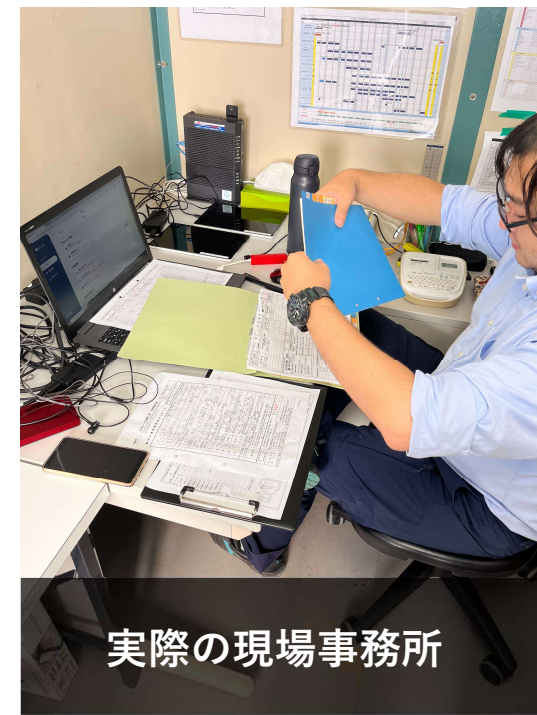
取組事項: _____

誓約事項: _____

教育実施者記入欄: _____

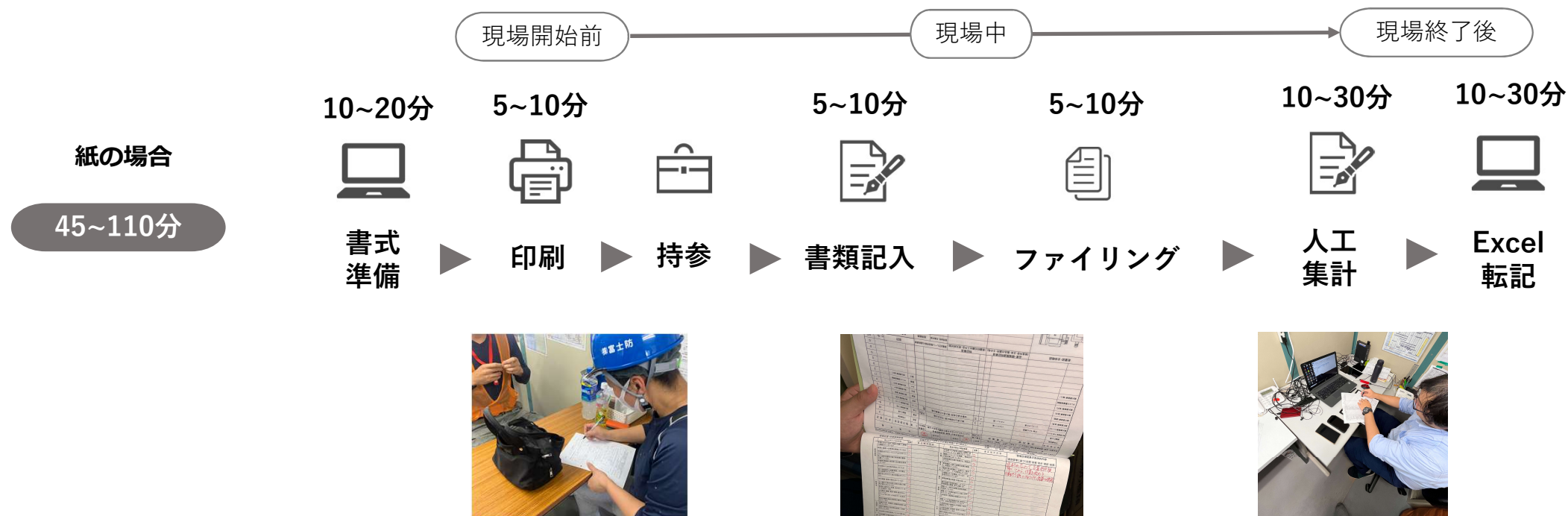
作業所長記入欄: _____

PS-009-06



3 - 背景となるニーズや課題認識_マンション修繕工事現場の課題

現場で毎日記入する書類の数が多く、本来の管理業務に集中できない



3 - 背景となるニーズや課題認識_課題に対する解決策

日々の管理業務をSHO-CASEを使ってスマホで代替えし、書類業務を効率化。紙を電子管理することでこれまで蓄積されなかった労務情報を分析できる



- 1 - 企業概要
- 2 - 共創プロジェクト概要
- 3 - 背景となるニーズや課題認識
- 4 - 実装実験成果**

4 -実装実験成果

【DX推進のために実施したこと①】

社内用説明資料の作成 役員/安全管理部/現場代理人への説明

資料抜粋

建設DXの推進

富士防現場で即導入した場合のコストシュミレーションですが、30現場で仮説すると、
1か月の＋コスト ￥15,000(500円×30現場)
1か月の－コスト ￥352,000

⇒差し引くと**¥337,000/1ヵ月**のコストメリットがある。

※算出コストの根拠

①本部削減コスト ￥22,000
(現在 1時間×22日×2,000円(時給)=¥4,400が半減)

②現場削減コスト ￥330,000
(10分×30現場=5時間×3000円(時給)=15,000円×)
22日(月平均現場稼働日=330,000)

また、その他のメリットとして

・現場の稼働状況がリアルタイムで把握できる
(現在のシステムでは、足場職人OR一式職人になるが、足場解体組立現場の状況がリアルタイムでわかるだけでも本部の管理が強化されると考えます。)

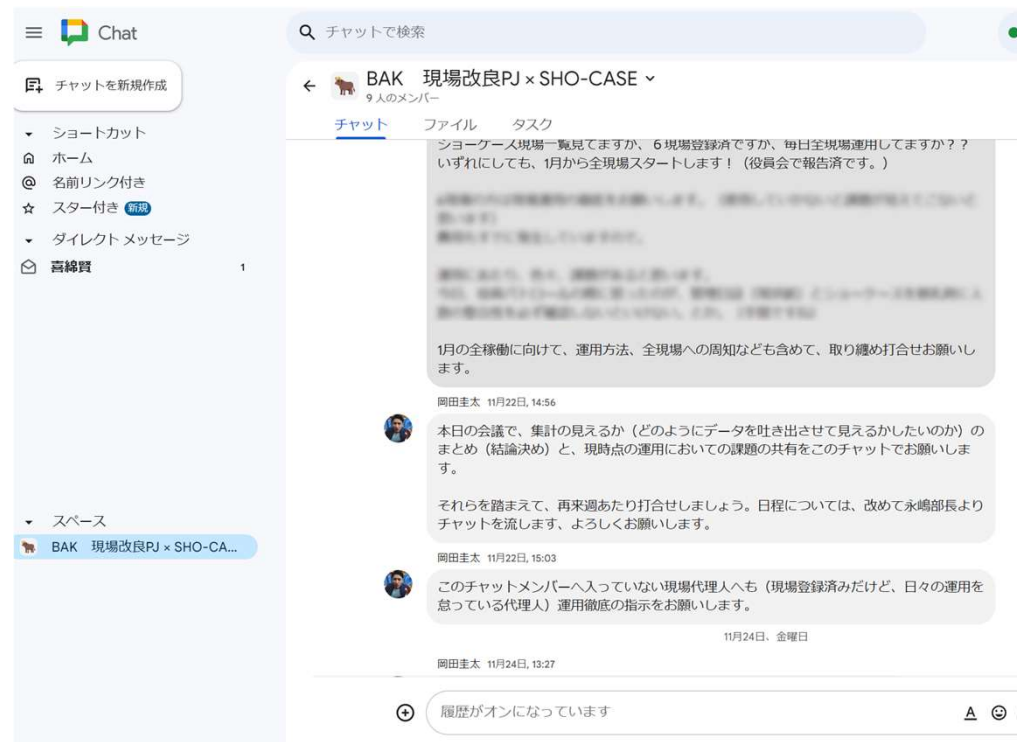


4 -実装実験成果

【DX推進のために実施したこと②】

実装におけるメンバー収集 主要メンバーのみのチャットグループ

Google chat



4 -実装実験成果

【DX推進のために実施したこと③】

社内メンバーへの運用徹底
現場作業員の登録レクチャー



4 -実装実験成果

【実証実験中に起きた課題①】

外国人作業員の登録の手間が発生
・電話番号/メールアドレスを持っていない



サービス内にメールアドレス作成
フローのページを追加



4 -実装実験成果

【実証実験中に起きた課題②】

退場操作忘れが多い/事前登録率が低い



機能改善/事前周知の徹底



4 -実装実験成果

【今後の課題①】

現場での運用の周知/徹底



SHO-CASEの改善・改良

【今後の課題②】

他社サービスとの連携



SHO-CASEのCCUS連携

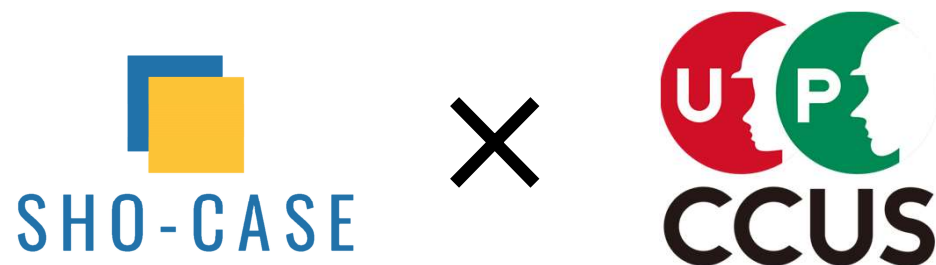
4 -実装実験成果-今後の目標展開

全現場での運用。CCUSとの連携



機械が置ける施工現場

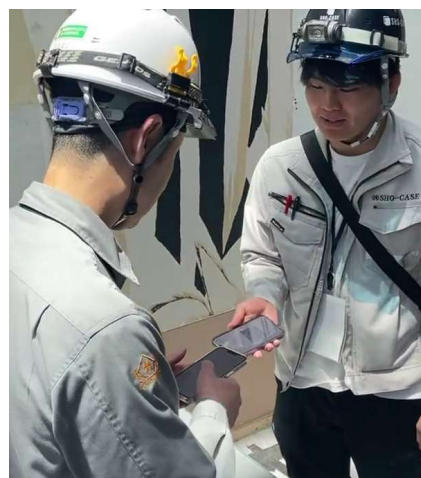
(有)竹ノ内組HPより



機器が設置できない施工現場向けに
SHO-CASEで入退場することでCCUSにデータが貯まる

4 -実装実験成果-今後の展開

入場操作を習慣化するための、インセンティブ設計



ポイント蓄積



ポイント利用

例①：飲料/熱中症対策用品



例②：ガソリンスタンド



例③：資材/工具





お問い合わせ

info@sho-case.co.jp

担当：高村（こうむら）